

造山古墳(岡山市)

つくりやま

前方が造山古墳/5世紀前半築造の前方後円墳/左手が後円部、右手は前方部/北西側から見たところ

 [video](#)



造山古墳の周辺には陪塚とされる6基の小古墳が所在している



北東側に回って、後円部(左手)の墳丘裾を前方部方向へ進む/道路も墳丘に沿って設けられている

 [video](#)



左手の後円部墳頂を見上げたところ



その後円部の三段築成のテラスでは何やら大勢集まっている



括れ部辺りを見たところ/この辺りに台形の造り出しがあるはずだが...

 video



前方部を見たところ/墳頂の木々の中に集落の守り神、荒神社(こうじんじゃ)があるようだ

[video](#)



南西側の前方部角から、振り返って後円部方向を見たところ

[video](#)



そこで、右手(南東方向)を見たところ/左手が前方部、道路右下の地形は周濠(水を湛えた周濠ではなかったらしい)の名残のようだ



これが左手の前方部

 video



前方部墳丘を見上げたところ

 [video](#)



さて、ここは南東側の前方部角にある墳丘へ登るための階段/標柱や説明板が立っている

 video



陪塚の千足古墳の石室には直弧紋様の装飾彫刻を施した槨障があると記されている

造山古墳

長径 350メートルの前方後円墳。履中天皇陵に次いで全国第4位の規模をもち、上・中・下の3段の墳丘をつくり、埴輪円筒列をめぐらせてあった。付近の6基の小古墳と共に国の史跡に指定されており、6基のうち千足古墳の石室には、直弧紋様の装飾彫刻を施した槨障がある。

岡山県・岡山市

階段を登って行くと、三段築成のテラス部分が見て取れる



足元にはこんな看板もあった



この平場は上部のテラス



階段を登り切ると、左上が前方部の墳頂でそこに荒神社が鎮座している



荒神社へと階段を登る

 video



ここが前方部墳頂/荒神社の社殿が見える

[video](#)



正面は荒神社の拝殿/荒神社は江戸時代に鎮座したらしい

 video



同時代に築造された堺市所在の上石津ミサンザイ古墳(履中天皇陵古墳)とほぼ同じ規模・墳形をしていることから、畿内の大王と同程度の力を持ったと思われる大豪族がこの吉備にもいたのではないかとされ、造山古墳は畿内のヤマト王権に対抗できるような「吉備の大王」の墓と推測されると云うが・・・

国指定史跡 造山古墳

当古墳は墳長約350メートル、後円部径約200メートル、高さ約24メートル、前方部幅約215メートルを測る前方後円墳で、岡山県下で第1位、全国でも第4位、自由に立ち入りできる古墳としては全国一の規模を誇ります。大正10年(1921)、周辺の中古墳(第一～六古墳)とともに国指定史跡となりました。

古墳は、低い丘陵を切断し土盛りや削平などを施して形を整えています。墳丘は三段築成で、くびれ部両側に台形の造り出しを設けています。また、墳丘表面には葺石ふきいしがふかれ、各段には円筒埴輪がめぐらされていました。このほか、盾・靴・蓋・家などの形象埴輪も見つかっています。

埋葬施設などの詳細は未調査のため不明ですが、墳丘規模・外表施設等の有り様からみて、被葬者は当地域の首長であったと同時に、吉備全域をも統轄していた大首長の地位にあったと考えられます。また、造山古墳に次ぐ作山古墳(総社市)、両宮山古墳(山陽町)などの巨大古墳の存在は、吉備が畿内の勢力と肩を並べるほどに強大であったことをうかがわせます。

なお前方部に置かれている割りぬき式の舟形石棺あそようけつぎょうかいがんは阿蘇溶結凝灰岩製で蓋には直弧紋ちよっこもんが刻まれているなど九州地域の石棺の特徴を持っています。近くの新庄車塚古墳から運ばれたものとも、当古墳の前方部から出土したとも伝えられています。

平成15年3月31日

岡山市教育委員会

覆屋の下には荒神社の手水鉢となっている阿蘇溶結凝灰岩製の割り抜き式の長持形石棺の身が置かれている



別の角度から



こんなものもあった

 video



こちらは石棺蓋石の破片/説明板が立っている



蓋石の表面には直弧紋の線刻があり、内側には赤色顔料が明確に残ると記されている/身には石枕が付いていると云う



国指定史跡

せつ かん ふた
石 棺 蓋

大正10年3月8日指定

史跡造山古墳の前方部頂部には、刳り抜き式の長持形石棺の身が置かれている。阿蘇凝灰岩製で、千足古墳の石障とともに吉備と九州が緊密な関係にあったことを示している。

この石棺は、造山古墳の北にあった車塚古墳から運ばれたという説と、造山古墳から出土したという説がある。

やや離れた位置にある石棺の蓋は完形ではないものの、表面に直弧文の線刻があり、内側には赤色顔料が明確に残る。また、神社石垣には阿蘇凝灰岩製の石塊が認められる。石棺の身以外の部材が認められることから、造山古墳以外の場所から持ち運ばれてきたのではなく、付近で出土した可能性が高いと思われる。

平成25年3月

岡山市教育委員会

アップで見たところ



さて、これは前方部から後円部方向を見たところ

[video](#)



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



これは括れ部の辺りで後円部を見たところ

 video



振り返って前方部を見たところ



これは南東側から括れ部辺りを見たところ



そこで、左手に前方部方向を見たところ

 [video](#)



同じく、右手に後円部方向を見たところ/前方に墳丘の崩れた部分が見える



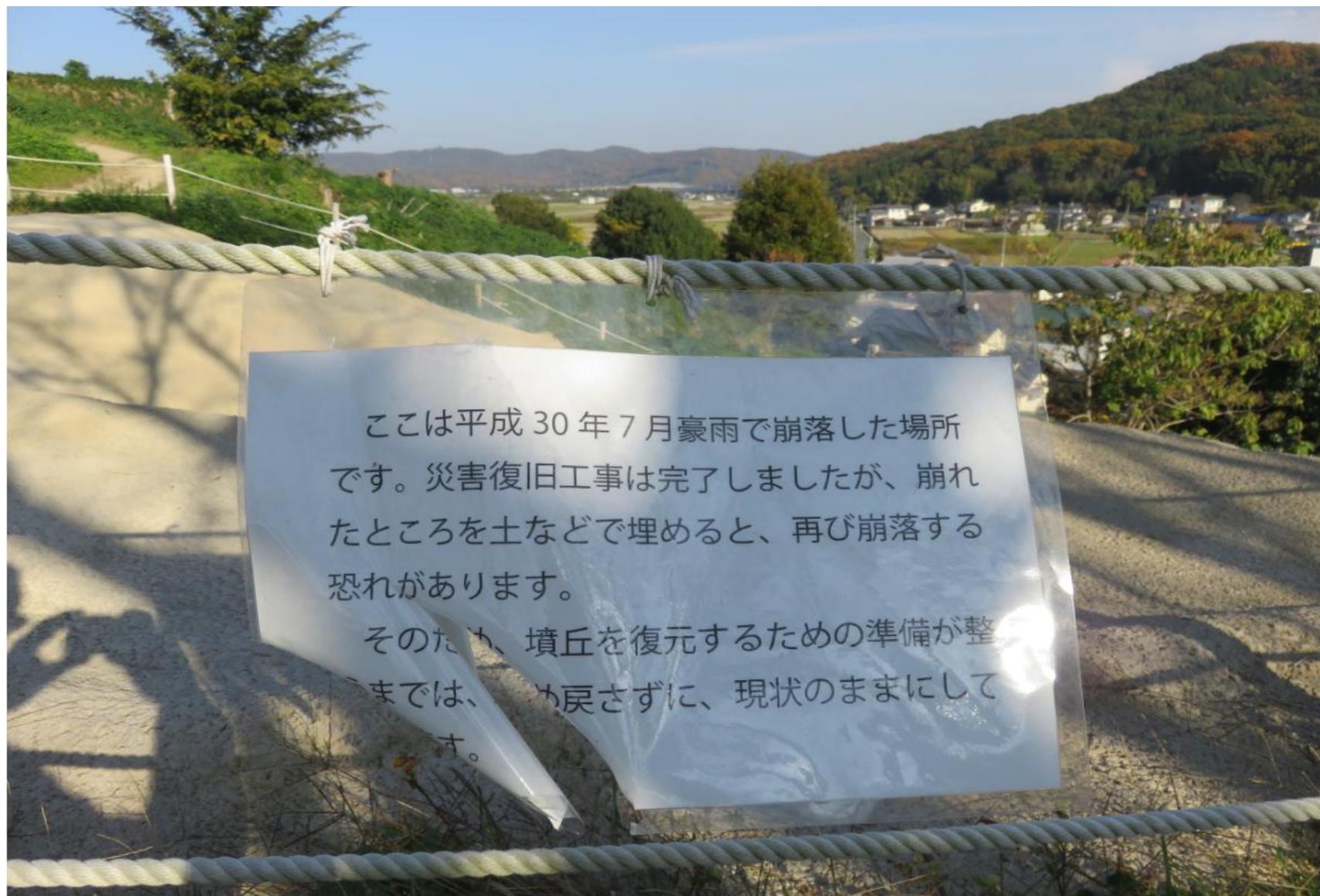
墳丘右下から見たところ



これは南東側墳丘の崩落箇所を応急処置した状況

 video





ここは平成30年7月豪雨で崩落した場所
です。災害復旧工事は完了しましたが、崩れ
たところを土などで埋めると、再び崩落する
恐れがあります。

そのため、墳丘を復元するための準備が整
うまでは、土を戻さずに、現状のままにして
ます。

左手から見たところ

 video



さて、ここが後円部墳頂/南西側から北東方向に見たところ

 [video](#)



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ/前方のマウンドは土塁の名残



同じく、振り返って前方部方向を見たところ



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



括れ部を見下ろしたところ

[video](#)



そこで、右手を見るとやはり土塁の名残が見て取れる/これは戦国時代の備中高松城水攻めの際に毛利方が後円部の墳頂に陣を築いた跡で、このように造山古墳には、破壊された跡や農地として開墾された跡が多数あると云う



これは後円部から北東方向を眺めたところ/この方向に備中高松城跡があるようだ



墳丘下を覗き込んだところ



こちらは後円部から北西下を覗き込んだところ/何やら作業が行われているようだ

 [video](#)



参考：2020/11/29 造山古墳発掘調査現場公開資料

[zouzann2020siryou.pdf \(city.okayama.jp\)](http://zouzann2020siryou.pdf(city.okayama.jp))

発掘調査のようだ/と云うことは、最初に見た大勢の集まりは発掘調査関係者だったのか・・・



後で確認してみると、これは2020年の秋に行われた発掘調査で、初めて埴輪列が確認されたということであった



アップで見たところ/このような大きな成果があった発掘調査に遭遇したことはラッキー！



これはそこから前方部方向を見たところ/括れ部の感じが見て取れる



これは西側から墳丘を見たところ/左奥が後円部、右手前が前方部/岡山県下で第1位、全国でも第4位の規模を誇る造山古墳/畿内の大王墓として上石津ミサンザイ古墳に続く羽曳野市所在の、全国でも第2位の規模を誇る誉田御廟山古墳(応神天皇陵古墳)は、造山古墳よりもやや遅い築造とする考え方もあるようだが、従来のようにほぼ同時期の築造と云うことになると、その被葬者で「倭の五王」の「珍」と想定される反正天皇が、朝貢時に配下の有力者や地域の首長達にと將軍号や軍郡号を賜与して貰った中の一人の墓として造山古墳を考える方が、古墳時代としての前方後円墳体制(同時代の規模は基本的にヤマト王権の前方後円墳を頂点とするという考え方)に即するのかもしれない…

 [video](#)



さて、ここは2020年4月1日にオープンした「造山古墳ビジターセンター」

 [video](#)



「造山古墳」と刻まれた石碑の右手は彫刻家・西平孝史氏作の「吉備の大王」らしい/背後は造山古墳の前方部

 [video](#)



造山古墳とその陪塚の立体模型も展示されていた

[video](#)



これはやはり彫刻家・西平孝史氏作と云う横穴式石室の中に立てる「石障(檜障)」のオブジェ/直弧紋様の装飾彫刻が施されている



有名な昔ばなし「桃太郎」の元祖と云われる「桃太郎伝説」のルーツは古代に遡り、吉備国とヤマト王権の勢力争いが「吉備津彦命」と「温羅」の戦いとして語り継がれてきたと云うことのようにだ

つくりやまこふん Tsukuriyama Burial Mound

造山古墳

古墳時代中期（5世紀前半頃）に築造された全長約350mの前方後円墳せんほうこうえんふんです。現在全国4位の規模で、築造当時は国内最大でした。自由に立ち入ることができ、墳丘ふんきゅうを歩いて見学できる古墳としては国内最大です。

周囲には、冢けらい来などを埋葬まいそうしたといわれる陪塚ばいづかが6基もあり、その一つである千足古墳せんそくこふんでは、熊本県から運ばれた石材が使われ、直弧文ちよっこもんと呼ばれる直線と曲線を組み合わせた文様を刻んだ石も発見されています。

この地に大きな勢力を持つ有力者がいたことで、対立する大和朝廷やまと ちょうていが派遣した吉備津彦命きびつひこのみことが、鬼神きしん（温羅うらとも呼ばれる）を退治する伝説が生まれたと考えられています。

This approximately 350-meter-long burial mound, built in around the first half of the fifth century, was the tomb of a powerful person. It is the fourth largest in Japan, and the largest burial mound in the country with a tumulus that can be climbed.

The presence of an incredibly mighty and powerful person in this area led to a fight with a prince of ancient Japan, and it is thought that this birthed the legend of the defeat of an ogre god (also known as Ura). This legend is said to be the model for the famous Japanese fairytale *Momotaro*.

陪塚の一つ、千足古墳(造山第5号墳)の横穴式石室は、九州北西部の装飾古墳に類似した構造で、九州産や四国産の石を使っていること、同じく榊山古墳(造山第1号墳)では朝鮮半島のものとみられる馬形帯鉤(青銅製のバックル)が出土していることから、瀬戸内から九州・朝鮮半島への古代の交易すら推測されると云う



造山古墳とその陪塚(第1～6古墳)(国指定史跡)

○造山古墳

全長約350mの前方後円墳で、五世紀前半頃に築造された。大阪府にある大山(伝仁徳陵)古墳(486m)、誉田御廟山(伝応神陵)古墳(425m)、上石津ミサンザイ(伝履中陵)古墳(365m)に次いで、全国でも第4位の規模の古墳である。その規模から、造山古墳の被葬者は、畿内政権と肩を並べるほどの力をもっていた吉備の大王の墓と想定されている。

古墳は自然丘陵を削りあるいは盛り土して、三段に築成されている。前方部側に丘陵を切断した堀切のあとが残っている。墳丘上には円筒埴輪や形像(家・楯・靫等)埴輪が立てられていた。また、前方部の荒神社の傍らには、新庄車塚から運ばれたとも前方部から掘り出されたとも伝わる阿蘇溶結凝灰岩製の長持形石棺と蓋の一部がある。

○陪塚(第1～6古墳)

造山古墳の周辺には、大小6基の古墳がある。陪塚と呼ばれ、主墳(造山古墳)の被葬者の一族か、有力な従者の墓と考えられている。

第1古墳(榊山古墳)直径35mの円墳ないし造り出しを持つ円墳で、神獸鏡・銅鈴・馬形帶鈎(バンドの留め金)が出土したと伝わっている。また伽耶系陶質土器も出土している。

第2古墳 1辺約40mの方墳。周濠が存在し、外堤上に埴輪列を伴う。

第3古墳 直径約30mの円墳。

第4古墳 直径約35mの円墳、あるいは前方後円墳。墳丘端から円筒埴輪、形像埴輪(家・短甲等)が出土している。

第5古墳(千足古墳)全長81m、三段築成の前方後円墳。吉備地方で最古型式の横穴式石室が築かれ、石室内には直弧文の刻まれた石障がある。鏡・碧玉製勾玉・鉄鏃・埴輪などが出土している。

第6古墳 現状では直径約30mの円墳。

参考ホームページ

<https://www.city.okayama.jp/museum/okayama-history/07tsukuriyama-kofun.htm>

<https://tabi-mag.jp/ok0007/>

<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/news/article1517.html>

<https://kofun.info/kofun/14>

https://www.nikkei.com/article/DGXLASF18H3D_Y5A410C1000000/?n_cid=DSTPCS004

<https://www.okayama-kanko.jp/okatabi/175/page>

[guidemap0.jpg \(2000 × 1448\) \(aikotoba.jp\)](#)

<https://kaifuusoo-575.sakura.ne.jp/okayama-zouzan.html>

<http://blog.livedoor.jp/geibi/archives/38901693.html>

